

PICC 2018年度活動報告書

(2018年1月1日から2018年12月31日まで)



一般社団法人

公益資本主義推進協議会

Public Interest Capitalism Council

目次

➤ 会長（代表理事）ご挨拶	P.02
➤ 公益資本主義について ・公益資本主義の「三本の矢」	P.04
➤ PICC について ・PICC のビジョン ・PICC 団体概要	P.05
➤ 事業の概況について ・設立から体制づくり ・2018 年のテーマと活動 ・新たな活動、マイコミュニティフォーラム ・2018 年度の業績概況	P.06
➤ 2018 年度 決算報告 ・2018 年度 合計貸借対照表 ・2018 年度 合計正味財産増減計算書 ・2018 年度 事業別正味財産増減計算書 ・財務諸表に関する注記	P.08
➤ PICC の委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践 ・100 年企業研究委員会 ・地域活性化委員会 ・教育支援委員会 ・途上国支援委員会 ・会員交流委員会 ・全国横断委員会	P.12
➤ その他の取り組みについてのご紹介 ・第 3 回 PICC 優秀事例発表会 ・新「在り方」勉強会について ・大久保会長による支部訪問 ・「王道経営の実践」宣言 ・マイコミュニティフォーラム	P.20
➤ 2019 年のテーマと課題 ・2019 年 PICC テーマ ・2019 年 キーワードと目指すビジョン ・2019 年 重点課題・重点成長分野	P.31

会長(代表理事)ご挨拶

近年の日本経済は、株価を見ても、完全失業率や有効求人倍率を見ても、国内総生産を見ても、数値的には総じて好調です。しかし、「実感が乏しい」好景気と言われる通り、日本人・日本企業からかつてのような元気も自信も感じられません。なぜでしょうか？

その最大の要因は、経済を支える企業が米国型資本主義のルールで経営されるようになってきているからであると、私は考えています。日本中の会社が違和感を覚えながらも「数字を達成することが最優先だ」「より短期間でより多くの利益を株主に還元することが企業価値である」という偏った価値観を持ち、「自分さえ良ければ」「今さえ良ければ」という考え方で経営判断を下しているのです。その結果として、粉飾決算、商品データの改ざん、談合、著作権侵害、計画倒産、ブラック企業等、さまざまなかたちで社会を騒がせる存在となっています。企業は本来の存在意義を忘れてしまったのです。

また、アメリカを猛追する中国では「国家資本主義」が力を付けてきました。しかし、これもやはり「儲けるためならなりふり構わず」というスタンスであり、これから大きな経済成長が期待される近隣諸国への影響を考慮すると、非常に強い危機感を抱いています。

企業とは本来、社会の困りごとを解決するために存在しています。お客様から選んでいただけるよう、企業はより良い商品・サービスを提供するために努力し、その結果として収益を得ることができるのです。その中から社員へは給与というかたちで、株主へは配当というかたちで利益の一部を分配します。あわせて、企業の事業活動は取引先や仕入れ先の収益にも寄与するものであり、また社員の雇用や納税を通じて地域社会や国の維持・発展にも貢献しているのです。

このように、企業は経済を支える「社会の公器」と言える存在です。すなわち「社員」のものであり、「顧客」のものであり、そして「株主」のものであり、「取引先」のものであり、「地域」のものなのです。日本では古来、こうした考えを根底に持った商売が行われていました。

「三方よし」「和を以って貴しとなす」「吾唯足知」、古くから日本に根付くこのような企業の在り方にもう一度、しっかりと目を向けていくことが、今の時代だからこそ必要であると確信しています。

これから世界経済の中心となるべきは、米国型の株主資本主義でも中国型の国家資本主義でもありません。社会全体の利益を考える資本主義、日本型の「公益資本主義」です。

私はこうした考えを日本中に、そして世界中に拡げ、変えていくため「公益資本主義推進協議会（以下「PICC」と呼ぶ）」という組織を作りました。

PICC では、「限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する」をビジョンに掲げ、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けて様々な活動に取り組んでいます。一つ一つの活動は大きな影響力はありません。しかし、このPICC を、公益資本主義について学ぶ場、実践する場、そして啓蒙する場として全国に広めていくことによって、必ずどこかで世の中を変えるためのきっかけを作ることができると思っています。

この趣旨に賛同していただける皆様、ぜひ本協議会にご参加いただき、一緒に新しい資本主義の在り方を考えていきましょう。そしてこの「公益資本主義」を、広く世界に発信していきましょう。ご協力よろしくお願いたします。

以上



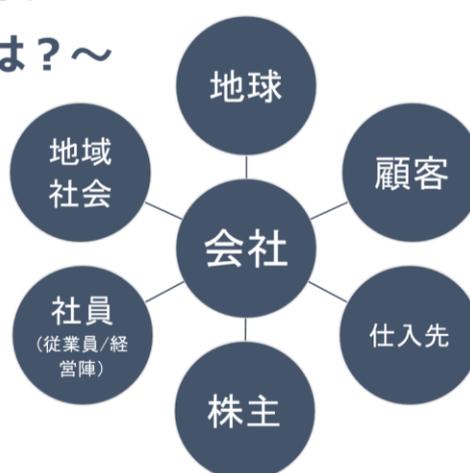
会長（代表理事） **大久保秀夫**

公益資本主義について

PICCの最高顧問である原丈人氏は著書『「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉』（文春新書）の中で、公益資本主義について「企業の事業を通じて、その企業に関係する経営者、従業員、仕入先、顧客、株主、地域社会、環境、そして地球全体に貢献する」ような企業や資本主義の在り方と定義しています。

**会社は誰のものか？
企業は社会の公器である。**

社中（Company）とは？～



「公益」と言うと利益を追求するのが悪いことのように思われるかもしれませんが、そうではありません。その逆です。企業を支えるすべての関係者に貢献するため、大いに稼ぎ、持続的に発展していく必要があります。

公益資本主義の「三本の矢」

持続的経済成長を促すため、公益資本主義の「三本の矢」として、次の3つを重視します。

- ① **中長期投資** — 持続的成長を支えるために、中長期的な投資を行う。経営陣は、短期の利益を求めつつも、中長期的な課題にバランスよく取り組む。
- ② **社中分配** — 会社があげた利益を、株主だけではなく、会社を支える社中各員に公平に分配する。こうすることで社会の格差を是正し、貧困層を減らし、層の厚い中間層をつくる。
- ③ **企業家精神による改良改善** — リスクをとって果敢に新しい事業に挑戦し、常に改良改善を求める。本業で利益を上げながらも、リスクを取って新しい事業にチャレンジし続けることが必要。

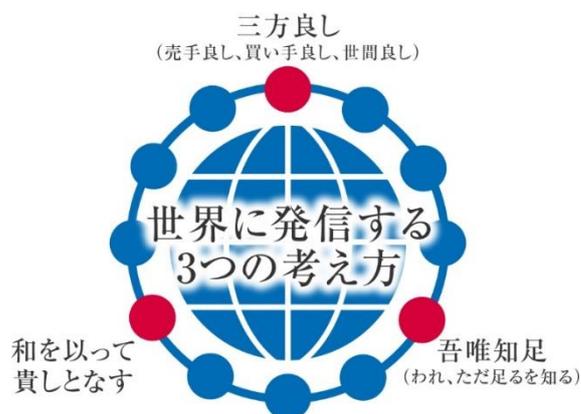
PICCCについて

一般社団法人公益資本主義推進協議会＝PICCC（Public Interest Capitalism Council）とは、公益資本主義を全国に広め、世の中を変えるためのきっかけをつくる活動を推進する協議会です。

公益資本主義の考えに沿った正しい企業の在り方＝「王道経営」を学び、それを実際の事業活動の中で実践することで社業を伸ばし、その有用性について実証していくこと。そして、公益資本主義に賛同する企業経営者を数多く育成・輩出していくことをミッションとしています。

PICCCのビジョン

限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する。



PICCC 団体概要

名称：	一般社団法人公益資本主義推進協議会	
設立：	平成 26 年 1 月 27 日	
所在地：	東京都渋谷区神宮前 5 丁目 52 番 2 号	
目的等：	諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けての活動	
会員数：	220 社（2018 年 12 月末日現在）	
支部等：	宮城支部／東京支部／愛知支部／大阪支部／福岡支部／福島支部設立準備委員会／栃木支部設立準備委員会／広島設立準備委員会	
役員等：	最高顧問	原 丈人
	相談役	大島 賢三
	相談役	川原 正孝
	相談役	林 英臣
	会長（代表理事）	大久保 秀夫
	副会長（理事）	田中 勇一
	理事	阿比留 正弘
	理事	日田 春光
	理事	前川 洋一郎
	理事	舘 逸志
	理事	北見 俊則
	監事	佐藤 栄作

事業の概況について

設立から体制づくり

PICC は、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向け活動しています。2014 年の設立当初は、会長である大久保秀夫を中心に日本全国を回り、次世代を担う若手経営者に向けて、現在の資本主義の問題点、企業の本来の在り方、人としての在り方、PICC の目指すこと等について啓発活動を中心に取り組んでまいりました。この結果、全国で PICC のビジョンに賛同する企業に入会していただき、組織の基盤をつくることができました。

2016 年には、会員数が一定数を越えた地域に支部を設立し、各地域で具体的活動を展開できる組織作りを行いました。現在は、宮城・東京・愛知・大阪・福岡に支部が設置されています。また、昨年は福島においても地域会員の熱心な活動により、設立準備委員会が立ち上げられました。既存の広島・栃木と共に、次の支部化に向けて組織づくりや新規会員の獲得に取り組んでいます。

- ✓ 宮城支部
- ✓ 東京支部
- ✓ 愛知支部
- ✓ 大阪支部
- ✓ 福岡支部
- ✓ 福島支部設立準備委員会
- ✓ 栃木支部設立準備委員会
- ✓ 広島支部設立準備委員会



各支部には「100 年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の 5 つの委員会が立ち上げられ、公益資本主義について学び、それを実践する活動への取り組みを開始しています。しかし、大きな活動項目は決めていたものの具体的なプランは一から作り上げていく必要があったため、各地域や委員会によってその進捗はばらつきがある状況です。

2018年のテーマと活動

2018 年度は『全会員が「王道経営」を真に学び、発信することで、公益資本主義を実践できる仲間を倍増していく』をテーマに掲げ、学びの場の拡充および新規会員獲得に取り組んでまいりました。

この方針に沿って活動した結果、各支部で経営者の「在り方」について学ぶ勉強会が活発に行われるようになりました。あわせて、この学びを個々の空き時間を使って

復習できるよう、情報誌「王道経営」の配布も始めています。また、そこで学んだことを会員各社・個人の具体的活動目標に落とし込むため、「王道経営の実践」宣言の作成も始めるなど、学びと実践の場づくりを充実させることができました。

委員会活動においては、理事が担当として後見することで、活動をより活発に、より高度にしていくことにチャレンジしています。全国の支部から代表者を集め、情報共有や支部横断の活動目標を検討する全国横断委員会を開催するなど、さらなる体制強化に取り組んでいます。

反面、会員数については増加させることができませんでした。全国で31社新規入会したものの32社が「本業多忙」「活動に参加できていない」等の理由で退会しています。あわせて、会費未納による失効会員を正会員数から除外すると平成30年12月末時点の会員数は昨年より31社減少し220社となっています。

その一方、福島県においては会員数が20社を超え、先述した通り福島支部設立準備委員会が新たに設立されています。今年度は6つ目の支部化を目指し、勉強会を中心とした学びの場づくり、新規会員獲得に取り組んでいます。

新たな会員制度「U25」

昨年の社員総会を経て、新しい会員制度として「U25」を開始しました。「マイコミュニティフォーラム」で知り合った大学生を中心にU25会員として招き、継続的に接点を持てるようにしています。若者に社会人、特に公益を志向する企業経営者との接点を提供することで、さまざまな知識や経験を得てもらい、社会に役立つ次世代のリーダーとなる人材を育成することを目的としています。昨年12月までに12名が入会しました。

2018年度の業績概況

このような活動を行った結果、2018年度における業績は次の通りとなりました。

経常収益は前期に比べ278万4,518円増加し2,319万7,784円。主な収益は、支部所属会員を対象としている月会費です。昨年は月会費と年会費の対象者が混在していましたが、現在は支部に所属する会員は全て月会費への移行が済み、毎月の会費収入が安定しました。

この収入の一部は、各支部が自主的かつ組織的に、本会主旨の活動を展開していく上で必要となる支部活動費として活用されています。また本部においても、会員や支部会計を管理するためのシステム整備・運用、会議の開催、広報活動等の財源とさせていただきます。

収益が増えたとともに、費用についても事業費および管理費が前期より微増しましたが最終的には270万2,973円の利益となり、昨年に引き続き黒字で終えることができました。

2018年度 決算報告

貸借対照表 (税込)

2018年12月31日現在

科 目	本 部	支 部	残 高
小口(東京支部)	12,200	0	12,200
小口(愛知支部)	0	0	0
小口(宮城支部)	179,516	0	179,516
小口(大阪支部)	20,282	0	20,282
小口(福岡支部)	121,000	0	121,000
マイコ小口(愛知)	305,896	0	305,896
普通預金(本部)	4,519,548	0	4,519,548
普通(東京支部)	1,822,650	0	1,822,650
普通(愛知支部)	922,711	0	922,711
普通(宮城支部)	369,915	0	369,915
普通(大阪支部)	1,120,302	0	1,120,302
普通(福岡支部)	1,670,801	0	1,670,801
マイコ(愛知)	177,857	0	177,857
現金預金合計	11,242,678	0	11,242,678
未収会費	979,846	0	979,846
前払金	1,368,360	0	1,368,360
立替金	502,805	0	502,805
前払費用	178,848	0	178,848
仮払金	0	0	0
流動資産合計	14,272,537	0	14,272,537
基本財産合計	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	14,272,537	0	14,272,537
未払金	674,424	0	674,424
預り金	41,119	0	41,119
仮受け会費等	0	0	0
流動負債合計	715,543	0	715,543
固定負債合計	0	0	0
負債合計	715,543	0	715,543
指定正味財産合計	0	0	0
一般正味財産	6,426,210	7,130,784	13,556,994
正味財産合計	13,556,994	0	13,556,994
負債及び正味財産合計	14,272,537	0	14,272,537

正味財産増減計算書（税込）

2018年 1月 1日から2018年12月31日まで

科 目	本 部	支 部	残 高
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
正会員 入会金	260,000		260,000
U25入会金	36,000		36,000
正会員 年会費	2,280,000		2,280,000
正会員 月会費	17,940,000		17,940,000
内振支部 活動	-7,728,000	7,728,000	0
講演会 等 収益	0	989,080	989,080
受取 利息	44	54	98
雑 収 益	404,042	1,288,564	1,692,606
経常収益計	13,192,086	10,005,698	23,197,784
(2) 経常費用			
事業 費	4,637,930	8,601,452	13,239,382
諸 謝 金	61,705	591,832	653,537
旅 費 交 通 費	1,932,034	1,230,300	3,162,334
消 耗 品 費	155,066	202,214	357,280
通 信 運 搬 具	87,715	164	87,879
システム管理費	512,640	0	512,640
渉 外 費	0	26,368	26,368
会 議 費	369,079	368,198	737,277
印 刷 製 本 費	18,020	0	18,020
広 報 費	199,089	1,415,637	1,614,726
会 場 費	362,980	1,571,390	1,934,370
支 払 手 数 料	459,602	33,642	493,244
支 払 保 険 料	0	7,800	7,800
業 務 委 託 費	0	2,675,895	2,675,895
研 修 費	471,000	170,000	641,000
支 払 寄 附 金	0	38,564	38,564
雑 費	9,000	269,448	278,448
管 理 費	7,255,429	0	7,255,429
支 払 報 酬	43,200	0	43,200
旅 費 交 通 費	112,400	0	112,400
消 耗 品 費	151,887	0	151,887
通 信 運 搬 具	10,049	0	10,049
システム管理費	763,992	0	763,992
渉 外 費	127,669	0	127,669
会 議 費	39,320	0	39,320
広 報 費	4,125,138	0	4,125,138
会 場 費	1,419,066	0	1,419,066
支 払 手 数 料	12,258	0	12,258
支 払 会 費	50,000	0	50,000
租 税 公 課	11,650	0	11,650
顧 問 料	388,800	0	388,800
経常費用計	11,893,359	8,601,452	20,494,811
評価損益調整前当期増減額	1,298,727	1,404,246	2,702,973
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,298,727	1,404,246	2,702,973
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	1,298,727	1,404,246	2,702,973
法人住民事業税	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	1,228,727	1,404,246	2,632,973
一般正味財産期首残高	5,197,483	5,726,538	10,924,021
一般正味財産期末残高	6,426,210	7,130,784	13,556,994
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,426,210	7,130,784	13,556,994

事業別正味財産増減計算書（税込・累計）

2018年1月1日から2018年12月31日まで

科 目	法人管理	会員事業	会長塾	講演会等	東京支部	愛知支部	宮城支部	大阪支部	福岡支部	合 計
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
正会員 入会金	0	260,000	0	0	0	0	0	0	0	260,000
U25入会金	0	36,000	0	0	0	0	0	0	0	36,000
正会員 年会費	0	2,280,000	0	0	0	0	0	0	0	2,280,000
正会員 月会費	0	17,940,000	0	0	0	0	0	0	0	17,940,000
内振支部 活動	0	-7,728,000	0	0	1,944,000	1,436,000	1,488,000	1,736,000	1,124,000	0
講演会等 収益	0	0	0	0	82,080	0	0	591,000	316,000	989,080
受 取 利 息	44	0	0	0	18	6	7	16	7	98
雑 収 益	0	404,042	0	0	50,000	1,030,000	170,000	0	38,564	1,692,606
経常収益計	44	13,192,042	0	0	2,076,098	2,466,006	1,658,007	2,327,016	1,478,571	23,197,784
(2) 経常費用										
事業 費	0	4,118,858	0	519,072	2,204,024	1,720,687	1,225,374	3,097,251	354,116	13,239,382
諸 謝 金	0	61,705	0	0	123,411	76,705	25,400	366,316	0	653,537
旅 費 交 通 費	0	1,787,544	0	144,490	205,540	0	273,990	750,770	0	3,162,334
消 耗 品 費	0	150,152	0	4,914	0	45,571	343	10,800	145,500	357,280
通 信 運 搬 具	0	87,715	0	0	0	0	164	0	0	87,879
システム管理費	0	512,640	0	0	0	0	0	0	0	512,640
渉 外 費	0	0	0	0	0	0	15,240	11,128	0	26,368
会 議 費	0	369,079	0	0	0	91,104	230,594	46,500	0	737,277
印 刷 製 本 費	0	0	0	18,020	0	0	0	0	0	18,020
広 報 費	0	80,289	0	118,800	44,469	497,495	265,673	500,000	108,000	1,614,726
会 場 費	0	132,832	0	230,148	0	228,040	359,000	984,350	0	1,934,370
支 払 手 数 料	0	456,902	0	2,700	4,968	11,772	7,236	7,614	2,052	493,244
支 払 保 険 料	0	0	0	0	0	0	7,800	0	0	7,800
業 務 委 託 費	0	0	0	0	1,795,895	600,000	0	280,000	0	2,675,895
研 修 費	0	471,000	0	0	0	160,000	0	10,000	0	641,000
支 払 寄 附 金	0	0	0	0	0	0	0	0	38,564	38,564
雑 費	0	9,000	0	0	29,741	10,000	39,934	129,773	60,000	278,448
管 理 費	7,255,429	0	0	0	0	0	0	0	0	7,255,429
支 払 報 酬	43,200	0	0	0	0	0	0	0	0	43,200
旅 費 交 通 費	112,400	0	0	0	0	0	0	0	0	112,400
消 耗 品 費	151,887	0	0	0	0	0	0	0	0	151,887
通 信 運 搬 具	10,049	0	0	0	0	0	0	0	0	10,049
システム管理費	763,992	0	0	0	0	0	0	0	0	763,992
渉 外 費	127,669	0	0	0	0	0	0	0	0	127,669
会 議 費	39,320	0	0	0	0	0	0	0	0	39,320
広 報 費	4,125,138	0	0	0	0	0	0	0	0	4,125,138
会 場 費	1,419,066	0	0	0	0	0	0	0	0	1,419,066
支 払 手 数 料	12,258	0	0	0	0	0	0	0	0	12,258
諸 会 費	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000
租 税 公 課	11,650	0	0	0	0	0	0	0	0	11,650
顧 問 料	388,800	0	0	0	0	0	0	0	0	388,800
経常費用計	7,255,429	4,118,858	0	519,072	2,204,024	1,720,687	1,225,374	3,097,251	354,116	20,494,811
評価損益調整前当期増減額	-7,255,385	9,073,184	0	-519,072	-127,926	745,319	432,633	-770,235	1,124,455	2,702,973
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-7,255,385	9,073,184	0	-519,072	-127,926	745,319	432,633	-770,235	1,124,455	2,702,973
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	-7,255,385	9,073,184	0	-519,072	-127,926	745,319	432,633	-770,235	1,124,455	2,702,973
法人住民事業税	70,000	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	-7,325,385	9,073,184	0	-519,072	-127,926	745,319	432,633	-770,235	1,124,455	2,632,973
一般正味財産期首残高	-4,720,288	13,973,552	5,303,357	-9,359,138	1,940,987	598,975	616,192	1,903,038	667,346	10,924,021
一般正味財産期末残高	-12,045,673	23,046,736	5,303,357	-9,878,210	1,813,061	1,344,294	1,048,825	1,132,803	1,791,801	13,556,994
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	-12,045,673	23,046,736	5,303,357	-9,878,210	1,813,061	1,344,294	1,048,825	1,132,803	1,791,801	13,556,994

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針
公益法人会計を適用しております。
 - (1) 棚卸資産の評価基準および評価方法
棚卸資産はございません。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産はございません。
 - (3) 引当金の計上基準
引当金はございません。
 - (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっております。

2. 特定資産の増減額およびその残額、財源等の内訳
特定資産はございません。

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高
固定資産はございません。

4. 実施事業等会計にかかわる資産
実施事業等会計にかかわる資産はございません。

5. 重要な後発事象
ございません。

付属明細書

1. 特定資産の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。

2. 引当金の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。

PICCの委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践

PICC 各支部では、「100年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の5つの委員会が立ち上げられ、さまざまな活動に取り組んでいます。

100年企業研究委員会

世界で最も多くの100年企業が存在する日本。これらの企業から経営の本質を学び、自らの経営に取り込むとともに、日本の経営の在り方を広く推奨していく委員会です。100年企業の視察や、経営者をお招きした勉強会などを行っています。

- 書物や講義を活用した研究
- 実際の100年企業への訪問
- 会員企業の100年ビジョンづくり



主な活動実績

実施日	地域	概要
• 2018/1/17	宮城	100年企業勉強会 訪問会社の選定方法、基準、企業訪問ポイント
• 2018/1/27	大阪	特別勉強会「仏陀と龍樹」
• 2018/2/23	宮城	100年企業訪問 株式会社アミノ（上野高正 会長）
• 2018/3/24	大阪	特別勉強会「聖徳太子」
• 2018/4/25	大阪	勉強会「100年企業の秘密」（前川洋一郎 理事）
• 2018/5/18	東京	100年企業訪問 株式会社天賞堂（新本桂司 社長）
• 2018/5/26	大阪	特別勉強会「孔子と墨子」
• 2018/6/27	大阪	定例会「問題を企業が解決していく社会にするために」
• 2018/7/25	福岡	前川洋一郎 presents 100年企業訪問ツアー 株式会社山口油屋福太郎（山口毅 社長）
• 2018/7/25	福岡	勉強会「百年企業研究」から見えてくる、ポスト・グローバル資本主義 （前川洋一郎 理事）
• 2018/7/27	愛知	社会貢献企業訪問 日本ウェストン株式会社&清穂会（臼井麻紗社 社長）
• 2018/7/28	大阪	特別勉強会「老子と荘子」
• 2018/8/9	愛知	100年企業訪問 関谷醸造株式会社（関谷健 社長）
• 2018/8/21	愛知	100年企業訪問 株式会社まるや八丁味噌（浅井信太郎 社長）
• 2018/8/23	宮城	100年企業訪問 株式会社ホテル佐勘（佐藤勘三郎 社長）
• 2018/8/28	本部	PICC 全国 100年企業委員会

- 2018/9/19 福岡 100年企業訪問 株式会社社の蔵（森永一弘 社長）
- 2018/9/22 大阪 特別勉強会「孟子と荀子」
- 2018/10/16 東京 100年企業訪問 うなぎ割烹 大江戸（湧井浩之 当主）
- 2018/10/22 大阪 勉強会「老舗学講義」（前川洋一郎 理事）
- 2018/11/13 東京 100年企業訪問 株式会社龍角散（藤井隆太 社長）
- 2018/11/13 東京 勉強会「老舗の栄枯盛衰」（前川洋一郎 理事）
- 2018/12/11 東京 100年企業訪問 株式会社銀座木村家（木村美貴子 社長）

地域活性化委員会

日本創生の原点となる地域振興。さまざまな分野から地域の活性化を研究・実践する委員会です。NPO 法人『元気な日本をつくる会』が展開する官民連携事業等、地域活性化に取り組む他団体との連携も含め、公益資本主義の考えを活かした地域活性化を推進しています。

- 地域課題や他地域における活性化事例の研究
- 地域活性化に取り組む団体との連携
- 地域活性学会との連携
- 地域の学生／企業／自治体／学校等との連携
- 地域活性化のための企画／実行



主な活動実績

実施日	地域	概要
• 2018/1/26	福島	お話し「豊さ脳への意識転換」（アロマハンド FAB 創始者 寺澤貴子氏）
• 2018/2/22	大阪	地域活動団体訪問 「やおんど」
• 2018/2/23	福島	お話し「宇宙を幸せにする 自分の能力を發揮して生きる方法」（Diva 玲奈氏）
• 2018/3/22	福島	お話し「逆のものさし講 in 福島」（書店「読書のすすめ」 清水克衛 店主）
• 2018/4/16	大阪	地域視察 「河内長野」
• 2018/4/27	福島	お話し「日本の教育、これまでとこれから」（寺子屋方丈舎 江川和弥 代表）
• 2018/5/25	福島	SDGs カードゲーム（SDGs 公認ファシリテーター 森本菜都美 氏）
• 2018/5/25	福島	お話し「平成後を生きる日本人とは」（株式会社経営ドクター 島村信仁 代表）
• 2018/6/21	大阪	地域視察 「SEKAI HOTEL 西九条」
• 2018/6/22	福島	お話し「出逢いに感謝！」（ハイテックシステム 土屋浩 代表）
• 2018/7/27	福島	お話し「月の礼拝のヨーガ」（日本ヨーガ禅道友会 認定講師 渡辺薫 氏）

- 2018/8/22 大阪 特別講演会「地域活性とセルフプロモーション」
(元気な日本をつくる会 須田恵和 氏)
- 2018/8/24 福島 お話会「元航空自衛隊員の地方議員が語る自衛隊と憲法」
(須賀川市議会議員 渡辺康平 氏)
- 2018/9/15 本部 PICC 全国地域活性化委員会/地域活性学会第 10 回研究大会 (拓殖大学)
- 2018/9/16 宮城 東北若者 10000 人会議の支援
- 2018/9/28 福島 お話会「たったひとりからでも世界を変えることができる」
(テラ・ルネッサンス創始者 鬼丸昌也 氏)
- 2018/10/13 福岡 国東市の地域おこし協力隊と地元有志への講演会
「財務セミナー・売上アップセミナー」
- 2018/10/26 福島 お話会「未来に豆撒くあったか仕事」(株式会社おくや 松崎健太郎 代表)
- 2018/10/27 宮城 第 4 回 学魂祭へのブース出店
- 2018/11/22 福島 お話会「最強のチームシップの作り方」(株式会社クリエイト 今井司 代表)
- 2018/11/26 宮城 元気な日本をつくる会とのミーティング
- 2018/12/18 福島 お話会「れんの学校」課外事業 (佐藤康則 氏、佐藤玲奈 氏)

※ 上記の他、支部によってマイコミュニティフォーラムや地域イベントの企画・運営について取り組んでいます。

教育支援委員会

子供は未来の財産です。学力の低下に加え、夢や希望が持てない日本の子ども達に経営者からの視点で教育を推進する委員会です。教育と子育ては地域ぐるみで行うことと考え、「出前授業」などの活動を積極的に展開しています。「働くとはどういうことか?」「社会における企業の役割」「志や目標を持つことの大切さ」等をテーマに、企業経営者が自身の経験や想いを直接伝えることで、これから社会に出てゆく子供たちに働くことの意味や将来の夢を考えるきっかけを作ることが狙いです。2018年は 33 校、4,036 名の学生に向け、出前授業を行っています。



- 出前授業の実施
- 職場体験の受け入れ
- マイコミュニティフォーラムで知り合った学生への教育
- 新たな教育支援手法の研究

主な活動実績

実施日	地域	概要
• 2018/1/17	大阪	出前授業 ECC 学園高等学校(通信制)3 年生
• 2018/1/23	大阪	出前授業 八尾市立久宝寺小学校 6 年生

- 2018/1/26 福岡 出前授業 福岡市立八田小学校 6年生
- 2018/2/1 栃木 出前授業 宇都宮泉ヶ丘中学校 1年生
- 2018/2/20 福岡 出前授業 筑紫女学園 中等部 2年生
- 2018/3/1 東京 出前授業 藤沢市立第一中学校 2年生
- 2018/3/7 愛知 出前授業 私立高蔵高校 1・2年生
- 2018/3/19 福岡 インタビュー学習 福岡市立吉塚中学校 1年生
- 2018/4/11 大阪 神話から学ぶ伊勢研修
- 2018/5/7 愛知 出前授業 愛知県立瀬戸北総合高校 2年生
- 2018/6/8 東京 出前授業 藤沢市立鶴沼中学校 2年生
- 2018/6/29 愛知 出前授業 瀬戸市立水野中学校 1・2年生
- 2018/6/30 大阪 招来型授業 「未来予想図アート、仕事とは」 地域食堂お結びころりん
- 2018/7/3 愛知 出前授業 愛知県立岡崎西高校 3年生
- 2018/7/6 愛知 出前授業 知多市立新田小学校 6年生
- 2018/7/17 本部 PICC 全国教育支援委員会
- 2018/7/18 愛知 出前授業 本地ヶ原小学校 6年生
- 2018/7/18 愛知 出前授業 愛知総合工科高校 1年生
- 2018/7/19 宮城 出前授業 石巻市立青葉中学校 3年生
- 2018/7/19 愛知 出前授業 愛知総合工科高校 1年生
- 2018/7/19 福島 出前授業 石巻市立青葉中学校 3年生
- 2018/7/20 愛知 出前授業 愛知総合工科高校 1年生
- 2018/7/26 大阪 出前授業 堺市学童保育 小学 1年生～6年生
- 2018/8/23 福岡 出前授業 福岡市立吉塚中学校 1年生
- 2018/8/31 宮城 クロスボーダーウイング国際交流活動 韓国・東京の高校生
- 2018/9/1 宮城 クロスボーダーウイング国際交流ディスカッション 韓国・東京・石巻の高校生
- 2018/9/10 愛知 出前授業 豊川高等学校 2年生
- 2018/9/14 宮城 キャリアセミナー 石巻市立河南西中学校
- 2018/9/17 本部 大久保会長が世界青少年「志」プレゼン大会へ審査員として出席
- 2018/10/4 福岡 出前授業 福岡市立多々良小学校
- 2018/10/12 宮城 出前授業 宮城県立石巻北高等学校 2年生
- 2018/11/8 大阪 出前授業 山形県立大石田中学校 3年生
- 2018/11/8 愛知 出前授業 愛知県立瀬戸高校 1年生
- 2018/11/13 愛知 出前授業 瀬戸市立南山中学校 2年生
- 2018/11/16 東京 出前授業 神奈川工科大学 3-4年生
- 2018/11/17 大阪 招来型授業「夢ケーキ・夢ワーク」 アトリエウフ
- 2018/11/22 愛知 出前授業 高浜市立高浜高校 3年生
- 2018/11/23 宮城 SHIEN FESTIVAL in SENDAI 東北の高校・大学生
- 2018/11/28 宮城 出前授業 石巻市立青葉中学校 2年生
- 2018/11/30 福島 出前授業 FSG 高等部 3年生
- 2018/12/1 愛知 出前授業 名古屋市立高杉中学校 2年生

- 2018/12/2 大阪 ユース・エンタープライズ トレードフェア 視察
- 2018/12/12 宮城 出前授業 宮城県立泉松陵高校 2年生
- 2018/12/14 宮城 出前授業 石巻市立蛇田中学校 1年生
- 2018/12/18 宮城 出前授業 宮城県立仙台東高校 2年生
- 2019/1/16 愛知 出前授業 愛知県立加茂丘高等学校 1・2・3年

※ 上記の他、支部によってはマイコミュニティフォーラムの企画・運営について中心的に取り組んでいます。

途上国支援委員会

国の基本は教育です。経済や文化の領域で将来のパートナーとなる途上国に対して、教育や自立支援をサポートしています。教師団の派遣や幼小中高一貫校設立などに取り組む CIESF と連携し、途上国支援の在り方を学び、実践します。

- CIESF 支援
- 途上国訪問
- 途上国進出の検討／実施
- 留学生受け入れ
- 他の途上国支援団体の研究
- CRM 手法の研究／実践



主な活動実績

実施日	地域	概要
• 2018/3/20	宮城	ベトナム訪問ツアー フォーラム参加・NGO「REACH」視察 他
• 2018/4/9	東京	CRM インタビュー (FIS ソリューションズ 山口勝宏 常務) 外国人労働者雇用についての勉強会 (シードパートナー 永沼秀一 代表)
• 2018/5/9	愛知	講演会「カンボジアでの活動と現状について」(Sui-Joh 浅野佑介 代表)
• 2018/5/26	東京	カンボジアツアー アンコールワット観光、スレイン村視察、CIESF 視察 他
• 2018/6/19	本部	PICC 全国途上国支援委員会
• 2018/7/24	宮城	途上国支援事業勉強会「ベトナム技能実習制度の最前線」 (KM International Trading & Consulting 中正宏 代表)
• 2018/9/14	広島	海外留学生との意見交換会
• 2018/10/19	東京	カンボジアツアー SES 参加、CJBI セミナー参加 他
• 2018/10/22	愛知	プノンペンツアー カンボジア進出の為の視察と CJBI 参加

会員交流委員会

会員活動の基盤となる公益資本主義。その考え方を学び、経営者本来のあり方を身につける「在り方」勉強会の普及を図る委員会です。また、定例会を通じて会員相互

の交流（親睦・ビジネス）を促すとともに、全国各地の支部との交流会も開催しています。

- ・「在り方」「やり方」勉強会
- ・魅力ある定例会の企画／運営
- ・会員企業の魅力発掘／発信
- ・会員企業の本業支援
- ・会員交流



主な活動実績

実施日	地域	概要
・2018/1/19	福岡・広島	合同定例会
・2018/1/20	福岡・広島	合同チャリティーゴルフコンペ
・2018/1/23	宮城	MG（マネージメントゲーム）研修
・2018/2/15	福岡	財務セミナー「右手にそろばん、左手にロマン 成長し続ける会社に聞く経営者のための財務 ～ 銀行との付き合い方のイロハ～」(飯田剛也 支部長)
・2018/4/27	広島	交流会 広島経済大学、徳山大学、西京銀行役員
・2018/5/12	宮城	第11回マイコミュニティフォーラム 未来をつくる SENDAI 学生会議
・2018/5/22	広島	健康経営講義 血管年齢測定
・2018/5/22	広島	徳山大学経営者講義 (アスカネット 福田幸雄 CEO)
・2018/5/30	愛知	大久保会長支部訪問
・2018/6/6	福岡	財務セミナー「右手にそろばん、左手にロマン 成長し続ける会社に聞く経営者のための財務 ～ 銀行との付き合い方のイロハ～」(飯田剛也 支部長)
・2018/6/30	東京	第12回マイコミュニティフォーラム TOKYO 学生会議 2018
・2018/7/20	東京	富士山登山研修
・2018/7/24	宮城	異業種交流勉強会 PICC 説明会・外国人雇用について 他
・2018/7/24	広島	健康経営講義 血管年齢測定
・2018/7/26	宮城	U25 会員オリエンテーション PICC とは・公益資本主義とは・意見交換 他
・2018/8/6	本部	PICC 全国マイコミュニティフォーラム実行委員会
・2018/8/25	東京	ラフティング&バーベキュー
・2018/8/26	東京	チャリティーゴルフコンペ
・2018/8/28	本部	PICC 全国支部長会議
・2018/8/29	福岡・広島	合同定例会
・2018/8/30	福岡・広島	合同チャリティーゴルフコンペ
・2018/8/31	宮城	クロスボーダーウイング ウェルカム懇親会
・2018/9/4	宮城	大久保会長支部訪問
・2018/9/4	宮城	異業種交流会 会員事例発表・ゲスト経営者紹介
・2018/9/6	福島	大久保会長支部訪問
・2018/9/26	福島	チャリティーゴルフコンペ

- 2018/10/5 東京 大久保会長支部訪問
- 2018/10/13 大阪 第13回マイコミュニティフォーラム Social Good Presentation 2018
- 2018/10/27 福岡 第14回マイコミュニティフォーラム
みんなが幸せを感じる会社って、どんな会社だろう？
- 2018/11/4 福岡 九州レインボープライド 2018 への参加
- 2018/11/10 広島 第15回マイコミュニティフォーラム HIROSHIMA 学生会議
- 2018/11/17 愛知 第16回マイコミュニティフォーラム 東海学生 AWARD
- 2018/11/28 福岡 大久保会長支部訪問
- 2018/12/9 宮城 家族への感謝の会
- 2018/12/11 広島 徳山大学経営者講義 「モノからコト、そしてコトから人へ」
(株式会社ビームス 南馬越一義 執行役員)
- 2018/12/27 広島 中国新聞社に西日本豪雨災害義援金を贈呈

※ 上記の他、本部では支部長会議を、各支部では定例会や「在り方」「やり方」勉強会・懇親会を毎月開催しています。

全国横断委員会

2018年度から理事が各委員会の後見人となり、PICCの活動をより良いものにしていくための議論を始めました。

このため、まずは理事が各委員会の活動について現状を知ること、そして全国支部の委員同士で横のつながりをつくることが不可欠であると考え、以下の通り委員会ごとに全国横断会議を実施いたしました。

全国途上国支援委員会

- 2018/6/19 13:15-14:00
場所：株式会社フォーバル 本社会議室
担当理事：日田春光 理事
参加者：宮城・三本菅通次支部長、野地数正副支部長、福島・久我和也委員長、
栃木・松井直樹委員長、東京・大塚雅之支部長・山口勝宏副支部長、
愛知・桜井博教支部長、大阪・黒川芳秋ブロック長、福岡・飯田剛也支部長、
本部事務局

全国教育支援委員会

- 2018/7/17 14:00-17:00
場所：株式会社フォーバル 本社会議室
担当理事：北見俊則 理事
参加者：宮城・鈴木嵩弘委員長、東京・岡昌太郎さん、愛知・寺田純一委員長、

広島・相本直樹さん、福岡・権藤千栄実さん、本部事務局

全国マイコミュニティフォーラム実行委員会

・2018/8/6 10:30-13:00

場所：株式会社フォーバル 本社会議室

担当理事：田中勇一 副会長

参加者：宮城・小林恵委員長、東京・大塚雅之支部長・山口勝宏副支部長、
愛知・寺田純一委員長、大阪・坂本直樹会計担当、広島・西中政和実行委員長、
福岡・藤木寛人副支部長、本部事務局

全国100年企業研究委員会

・2018/8/28 11:00-12:00

場所：大阪 CORONA（コローナ）

担当理事：前川洋一郎 理事

参加者：宮城・早瀬涉副支部長、鈴木啓也委員長、福島・久我和也委員長、
埴啓之副委員長、東京・河合広介副支部長、愛知・加藤克弘副委員長、
大阪・簾博文委員長、柳川誉之支部長、松井宏彰前委員長（その他、支部会員の皆さんもオブザーバー参加）、広島・光廣昌史委員長、本部事務局

地域活性化委員会

・2018/9/15 11:10-12:10

場所：茗荷谷 茗荷庵

担当理事：舘逸志 理事（須田憲和本部長が代行）

参加者：前川洋一郎理事、宮城・小林恵委員長、福島・太田大副委員長、
東京・大塚雅之支部長、大阪・佐藤岳登副委員長、福岡・今池欣継委員長



全国教育支援委員会での集合写真



地域活性化委員会の事例発表

その他の取り組みについてのご紹介

第3回 PICC 優秀事例発表会

2019年3月15日、一般社団法人公益資本主義推進協議会は社員総会を開催。議案として上程していた平成30年度決算の件は原案どおり承認可決されました。

議事後には、当会の最高顧問である原丈人氏から「公益資本主義」の理論とその可能性について講演をいただき、参加者一同、改めて公益資本主義についての認識をアップデートすることができました。



また、総会後は早くも3回目となる優秀事例発表会を開催し、6つの分野別に選抜された活動事例について会員企業によるプレゼンテーションが行われました。

【優秀事例を発表いただいた会員の皆様】

1. 公益資本主義の実践部門
愛知支部 奥村 雄介さん（興亜商事株式会社）
2. 会員交流部門
宮城支部 早坂 啓さん（株式会社サクラボ）
3. 100年企業研究部門
宮城支部 鈴木 啓也さん（株式会社 AppRuns）
4. 社中分配部門
宮城支部 早瀬 渉さん（株式会社ラポールヘア・グループ）
5. 地域活性化部門
大阪支部 佐藤 岳登さん（株式会社 GLOBAL FLAT）
6. 教育支援部門
東京支部 谷川 宏樹さん（株式会社アイ・コンサルティング）

全国のPICC各支部から過去最高となる30件を超える応募があり、事前に行ったビデオ予選はかなり難しいものとなりました。昨年までなら十分登壇できる発表でも、残念ながら本選に進めないものがいくつかありました。その中から厳選された事例だけあり、いずれの発表も素晴らしいものばかりでした。

その中で最も優れたプレゼンターとして、興亜商事株式会社の奥村 雄介さん（愛知支部）に「2018 PICC MVP 賞」が贈呈されました。奥村さんからは、自社でチャレンジされているカンボジアでのゴミ処理事業と環境教育への取り組みについて、情熱的に紹介いただいています。ポイントは関わるいろいろな方にビジョンを伝えながら、様々な協業者を増やしていき、カンボジア政府や JICA、国連まで巻き込んでおり、PICC の目指す「地球益」に向かっている点が高く評価されました。



「2018 PICC MVP 賞」を受賞された奥村雄介さんより

このような素晴らしい賞を頂きありがとうございます。おそらく皆さん、自社で公益資本主義を実践するため、たくさん苦しんでいらっしゃると思います。私も失敗ばかりです。この事業はこれから、どうなっていくか見えていない部分もあります。ですから本当はまだ、このような場で発表させていただける段階ではないのではないかと迷いもあります。しかし、皆さんに一つお約束できるのは、私の言葉に嘘はないということです。ぜひ、カンボジアに見に来てください。CIESF Leaders Academy もありますし、私の会社もあります。私たちがいま世界に対して投げかけていること、挑戦していることをぜひその目で確認していただきたいと思います。本日はありがとうございました。

また、宮城支部には「2018 年度 最優秀支部賞」が贈られています。昨年、一昨年に続いての受賞で、三連覇となりました。こちらの賞は昨年1年間の各支部の活動ごとに、あらかじめ設定された活動ポイントを集計したものに、優秀事例発表会予選で獲得した得点を合算し、合計点数が最も高かった支部に贈られる賞です。毎月の委員会活動や広報活動、会員各社での実践活動など、幅広い分野での活躍が評価されました。



「最優秀支部賞」を受賞された宮城支部を代表し、三本菅支部長・野地副支部長より

【三本菅支部長】 2014年2月にPICCが立ち上がってから5年が経ちました。本当にあっという間のことですが、その中で自分が一番大切にしてきたのはPICCの仲間との絆です。東日本大震災を乗り越えた東北チーム、福島を含めての絆があり、この三連覇を成し遂げることができたのではないかと思います。いつも父親のように見守っていただいている大久保会長とも、震災の支援活動を通じて知り合った方のおかげで会うことができました。また、全国の素晴らしい経営者とも会うことができます。そしてPICCの活動ができているのは、家族の支えがあるからです。全ての御縁とつながりに感謝しています。

【野地副支部長】 宮城支部では「一致団結」というスローガンを掲げて取り組んでいます。なかなか言うほど簡単ではありません。そんな中でも、三本菅支部長がいつも言っているのは「会員それぞれの小さい、表に出てこないような活動も無駄にしてはいけない」ということです。支部長を筆頭に、全員でそういう細かいところをサポートしながら取り組んできたことが賞につながったのではないかと思います。三連覇をいただきましたが、宮城もたくさん課題があります。今後とも皆さんと共に精進し、宮城だけでなく全国のPICCでよりよい活動ができるよう協力していきたいと思っています。

その後は、全国から集った支部責任者による決起、大久保会長からの方針説明も行われ、今年も全会員が一丸となり、公益資本主義の学び・実践・啓蒙活動に取り組んでいくことを確認することができました。

2019年度は『会員およびその社中全体がより成長できる活動の推進、そのためのベースとなる新規会員獲得および育成』をテーマに掲げ、会員一同全力で取り組んでまいります。①「王道経営」の学びと実践の継続、②活動のベースとなる新規会員

獲得および育成、③PICC 活動の中心となる委員会活動の集中・強化、以上3点を重点課題に、更なる「成長」「人づくり」にチャレンジします。



新「在り方」勉強会について

PICC 会員の第一の役割は、「王道経営」を実践し、利益を出し、雇用を生み出し、税金を納めてもらえるようになることです。これができるようになって初めて「三方よし」、社員とその家族・顧客・取引先・株主・地域社会に幸せを分配することが可能になるからです。

2018年度はまず経営者としての「在り方」について十分理解し、会員自らが語れるようになることを目指して新「在り方」勉強会をスタートさせました。PICCの会員企業が社業を発展させる上でも、新たに公益資本主義を学び・実践し・拡げていく仲間を増やす上でも、重要な取り組みとしてとらえています。以前のように会長である大久保が自ら講師となって教えるのではなく、大久保から「在り方」を教わったことのある会員が、各地で講師となり、他の会員の教えるという形式を取っています。将来的には全会員が講師として立てるようになり、PICCの魅力をPRする一翼を担うことを目指します。

新「在り方」勉強会のカリキュラム

- ・(第1回) 公益資本主義・大久保秀夫のルーツを知る
- ・(第2回) 人生で成功するたった一つの方法『決断』
- ・(第3回) これからの企業経営のあり方 CRM 編
- ・(第4回) これからの企業経営のあり方 BOP 編
- ・(第5回) 成功者に共通する8つの法則 Part1
- ・(第6回) 成功者に共通する8つの法則 Part2
- ・(第7回) 大久保秀夫流 18の法則
- ・(第8回) 成功する経営者になる為に必要な25の思考と行動

大久保会長による支部訪問

2018年度は2年ぶりに、大久保会長が6つの支部・3つの設立準備委員会を訪問し、地域の会員・ゲストに向けて直接、企業の在り方や地球益について講演を行いました。また、各支部からも委員会活動や会員各社の実践事例などの報告がされ、活動の方向性の確認・意見交換が行われています。

2018/5/30	愛知支部訪問
2018/9/4	宮城支部訪問
2018/9/6	福島支部設立準備委員会
2018/10/5	東京支部
2018/11/28	福岡支部
2019/2/5	大阪支部



「王道経営の実践」宣言

PICCの定義する「王道経営」とは、経営者として、企業としての正しい「在り方」を持った上で、成功する経営者の「やり方」を実践する、正しさと強さを志向する経営です。これを自社の経営に取り入れ、社業発展に活かしていただくことが、PICCが存在する最大の目的となります。

「王道経営」と一口に言っても、会員各社でそれぞれ取り組むべき経営課題は異なります。「在り方」勉強会等で学んだ中から、2019年に企業としてチャレンジする王道経営の実践目標について会員企業に宣言を作成していただきました。その中から一部を紹介させていただきます。目標を明確にすることで、会員企業の経営やPICC活動がより充実したものとなることを目指した取り組みです。

特に多く目標設定された実践項目と実践目標（例）

- ①社会性を最優先とし②独自性、③経済合理性の順で考えて決断している
 - 社会性から実行した事業を日本全国へ波及し経済的成功を収め、この理論の正しさを実証する。（大阪会員）
 - 医療・介護事業における公益性を取り戻すため、これから医療介護で起業する経

営者に向けた「在り方」経営を伝える教育事業を開始する（大阪会員）

- 自社の取り組みの基本的な考え方を、社会性の点から見直していく。また、ボランティアや地域貢献など、従業員にも少しずつ浸透できる様な活動を行なっていく。（福島会員）

- **自社の強みを知り伸ばす努力をしている**

- 弊社の強みであり大手にはなかなか実践がむずかしい職人による本格的な調理と、市場を介さず産地から直接仕入れる独自性のある鮮魚をさらに強化し、それに伴ったイベントを行います。また地域とより密接な店作り、活動を強化します。（愛知会員）
- →自社の特徴や取り組んでいる社会課題の解決は、美容業界だけでなく国内企業、自治体および海外でも必要とされる大きなインパクトがある事業であることを認識し、本質的な課題解決を本年度も引き続き目指し、雇用創出、出店、組織展開を加速する。（宮城会員）

- **人様の役に立つ、喜んでもらえるが事業の根本になっている**

- “顧客とのエンゲージメントの強化”に取り組めます。デジタル革命によって、世界はあらゆる人やモノがインターネットによりつながる新しい時代に突入しております。企業視点から顧客視点へ顧客接点が重要です。私たちは、「人と人を繋げ、コミュニケーションデザイン」を支援しているので、「製品やサービス」を売ろうとするのではなく、顧客と企業を豊かにシアワセを創造することに集中いたします。（広島会員）
- 自社の mission「次世代の担い手育成」は、多くの企業課題の根幹と考える。自社の事業を本気で取り組み、拡大していくことが協働する社員の喜びであり、ご支援するお客様の喜びにつながると確信している。益々変革する経済環境の中で更なる雇用拡大と顧客増加を目指す。（福岡会員）

- **「やる」ではなく「やり抜く」ことを実践している**

- 新工場設立により、日本全国から ASEAN への展開をはかる。より多くのお客様より「ありがとう」を頂き、地球の環境を護る。（東京会員）
- 今年の会社の行動指針は【抜ける】という言葉を設定しており、【抜ける】の意味として「やり抜く」「突き抜ける」という言葉を引用しています。昨年は、結果は出ていたものの何事に対しても「やり抜く力」が足りませんでした。今後、未来に繋げていく事業を成し遂げるため、数字・報告・計画・実行と PDCAA の取り組みに力を注いでいく年にしていきます。（栃木会員）



2016年12月から始めた「マイコミュニティフォーラム」もPICC全国支部の取り組みとして定着しました。代表世話人として、元国連大使の大島 賢三 氏、NEWS ZEROのメインキャスターを務めていた村尾 信尚 氏、地域活性学会副会長の舘 逸志 氏にご協力いただきながら、日本各地で若者に気付きを与えるためのフォーラムを開催しています。

マイコミュニティフォーラムの目的は、若者の地域に対する意識のスイッチを“オフ”から“オン”にすること。自分たちの力で「国や未来は変えることができるんだ」ということに気付いてもらうため、まずは自分が住んでいる地域でどんな取り組みが行われているか、目を向けてもらい、私の社会のために何かできること、参加してみたいと思えることを見つけてもらうためのヒントを提供したい、そんな思いで企画しております。

各地域のPICC会員が中心となり、近隣の学校、学生、経営者、NPO、企業、議員等と協力しながら、様々なテーマ・プログラムを提供してまいりました。

はじめに村尾信尚氏から『私の社会をつくるための2つの券』と題した講演があり、「私たちは社会を変える2つの券、投票券と日本銀行券を持っている」ということを平易に解説。その後はテーマに沿ったパネルディスカッションや講演等が行われるのが、基本のフォーマットになっています。回を重ねる度に、一方的に聞くだけではなく、聴衆も一緒に参加できるワークショップ型の取り組みが採用されることも増えてきました。

講演を通じて、参加者に自分と地域・社会との関係性について気付きを与えると同時に、自分自身は地域や社会に対してどのようなことができるのかについて考え、発言できる場を提供することで、来場者から高い満足度評価をいただくことができています。

2018年12月までに全国6都市で16回開催し、1,983名の方に参加いただくことができました。

【2018年の開催実績】

① 第11回マイコミュニティフォーラム in 宮城

2018年5月12日(土) 13:30~16:30

場所：東北学院大学 土樋キャンパス ホーイ館

テーマ：働き方の未来2035 一人ひとりが輝くために

参加者：160名



② 第12回マイコミュニティフォーラム in 東京

2018年6月30日(土) 13:30~17:30

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

テーマ：TOKYO学生会議2018 “YouthQuake” 若者の影響力に価値がある！

参加者：107名



③ 第13回マイコミュニティフォーラム in 大阪

2018年10月13日(土) 13:00~16:00

場所：山西福祉記念会館

テーマ：Social Good Presentation 2018

参加者：64名



④ 第14回マイコミュニティフォーラム in 福岡

2018年10月27日(土) 13:30~16:30

場所：福岡大学8号館

テーマ：みんなが幸せを感じる会社って、どんな会社だろう？

参加者：164名



⑤ 第15回マイコミュニティフォーラム in 広島

2018年11月10日(土) 13:30~17:20

場所：広島経済大学 明德館 アクティブラーニングcommons

テーマ：人間力 × 未来 ~これから求められるチカラ~

参加者：110名



◎ 第16回マイコミュニティフォーラム in 愛知

2018年11月17日(土) 13:00~18:00

場所：愛知学院大学 名城公園キャンパス アガルスタワー10階

テーマ：東海学生 AWARD

参加者：114名



【2018年の振り返り】

2018年のマイコミュニティフォーラムは、学生、特に「大学生」をターゲットに、「働く」＝「社会への貢献」、「会社」＝「社会の公器」という考えを伝え、彼らの就職意識や就労意識をポジティブに変えていくことをテーマとしました。

そして、マイコミュニティフォーラムを①若者が成長できる場、②社会に対する行動力の高い学生同士・社会人が交流できる場、③今はオフの若者がオンになるための刺激を得られる場とすることを目指し、そのためのポイントとして次の施策を明示しました。

① 若者が成長できる場

→これまでのフォーラムで行ってきた学生プレゼンの強化＝社会人が指導することで若者のプレゼン能力や事業プランを成長させる
→各支部から最も成長した若者を全国大会へ送り出す

② 社会に対する行動力の高い学生同士・社会人が交流できる場

→U25 会員制度の新設、PICC 活動へのジョイン、若者の社会活動へ PICC 会員のジョイン

③ 今はオフの若者がオンになるための刺激を得られる場

→従来のマイコ（講演、パネルディスカッション、グループワーク等）、全国大会

⇒2018年 マイココミュニティフォーラムの共通タイトル「YouthQuake」

2017年のオックスフォード英語辞書「今年の英単語」として選ばれた言葉です。

youth+quake を (earthquake のように) まとめた合成語。半世紀前から使われていますが、昨年複数のニュースメディアなどで使われるようになるなど、急速に注目が高まっています。日本でも今後、その影響を受けて広がることが予想されます。

「若者による社会的地殻変動」という意味合いで使用され、マイココミュニティフォーラムが目指す方向性ともマッチしているため、世話人からのアイディアで 2018 年からマイココミュニティフォーラムの共通タイトルとして採用しました。

【2019年のマイココミュニティフォーラムについて】

2018年の活動を通じ、各支部それぞれ新年度につながる可能性を見出しているため、2019年も引き続き同じテーマ・共通タイトルで取り組んでまいります。

新たな方向性として、本年度の事業方針に沿い以下に取り組んでまいります。

・U25 会員を中心に、若者の社会への意識を高めるための手助けを行う。

→「社会にどのように貢献できる存在になりたいか？」

若者が志を持つことをサポートするためのベースづくりに取り組む。

U25 会員とは、25 歳未満の若者が PICC の活動に参加できるようにした特別会員制度です。各地で年 1 回開催するマイココミュニティフォーラムだけではその場限りの気付きで終わってしまうため、PICC の活動に参加してもらいながら継続フォローできるよう 2018 年から新設しました。また、U25 の若者に PICC 会員となってもらうことで、マイココミュニティフォーラムの運営や集客にも関わってもらうことも期待しています。

今年度は U25 会員がこれから社会に出ていく前に知っておくべき、気付いておくべき情報や考え方を提供し、社会に出たときに自信をもって活躍できる人材を輩出することを目指します。

2019年度のテーマと課題

新年度のテーマと課題について考える上で、まず PICC の「活動の本質は何か？」を整理しました。その中で見えてきたのは、PICC はさまざまな活動をしているように見えますが、実はあらゆる活動は社中、PICC に関わる人々の「成長」＝「人づくり」につながっているということです。これを踏まえ、2019 年度の PICC テーマ・課題は以下の通り決めました。

2019 年 PICC テーマ

会員およびその社中全体がより成長できる活動の推進、

そのためのベースとなる新規会員獲得および育成

2019 年 キーワードと目指すビジョン

本年のテーマを補足するため、キーワードと目指すビジョンは以下の通りです。

- キーワードは「Grow up with PICC」
- 目指すビジョンは、PICC は「成長」したい・させたい人が集まる場に！
 - 例えば学生や NPO、地域社会からは「PICC に成長のきっかけをもらった」
 - 例えば会員自身は「PICC の教えで成長できた」
 - 例えば世話人や協力団体からは「PICC を通じ成長を手助けができた」

2019 年 重点課題・重点成長分野

このため、以下 3 点を 2019 年の重点課題とし、取り組んでまいります。

- ① 「王道経営」の学びと実践の継続
- ② 活動のベースとなる新規会員獲得および育成
- ③ PICC 活動の中心となる委員会活動の集中・強化

限られたマンパワーで上記課題に取り組んでいくため、「成長」「人づくり」の中でも特に次の 4 つに重点分野を定めました。

2019 年度 PICC 4 つの重点成長分野

- ・「王道経営」を学び、実践する企業を一社でも多く輩出する
- ・U25 を獲得し、若者に公益資本主義を理解・実践してもらう方策を見出す
- ・担当理事と共に委員会活動の方向性再確認&強化
- ・「地球益」に貢献する同志を増やし共に成長する

PICC 2018 年度活動報告書

2019年4月16日 発行

著者 一般社団法人公益資本主義推進協議会

発行元 一般社団法人公益資本主義推進協議会 組織運営本部事務局

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバルビル 14 階

電話 03-6826-1234

本書の内容の一部または全部を無断複写、複製、転載することを禁じます。